ミート・ザ・エキスパート 2
膵癌薬物療法に関する overview と新たな展開

■企画趣旨
膵癌は抗がん剤の開発が難渋してきた癌腫の一つである。その背景には、線維化した間質による治療薬の腫瘍細胞への到達阻害や、慢性炎症に伴う抗腫瘍免疫活性の低下など、膵癌特有の腫瘍微小環境が関与していると考えられている。こうした中、我が国では 2001 年に GEM 単剤が膵癌に適応を取得し、その後、2013 年に FOLFIRINOX、2014 年に GEM＋nab-PTX（GnP）が、GEM 単剤を上回る有効性を示すレジメンとして登場した。近年では、JCOG1611 試験の結果を踏まえ、GnP が一次治療における標準的な治療選択肢として位置づけられている。また、二次治療では 2020 年にイリノテカンリポソーム製剤であるオニバイドが登場し、標準治療の一つとして定着している。本セミナーでは、これまでの膵癌薬物療法の進歩と変遷を振り返るとともに、今後の治療展望について議論を深める。